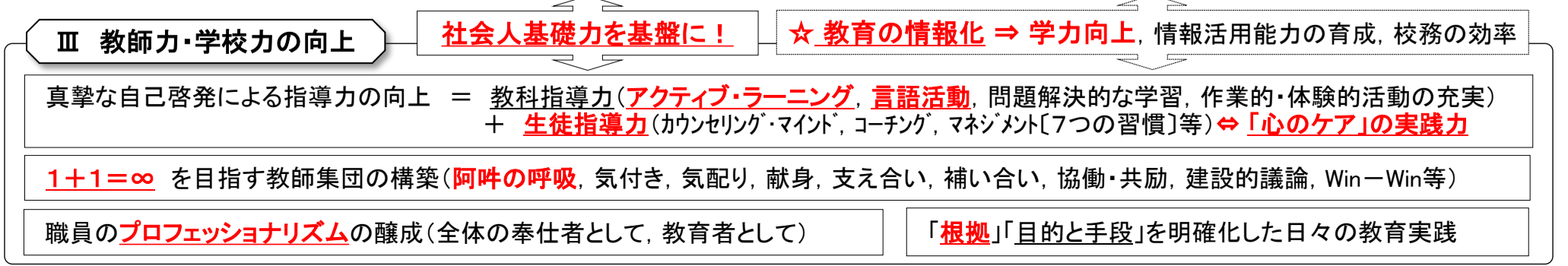
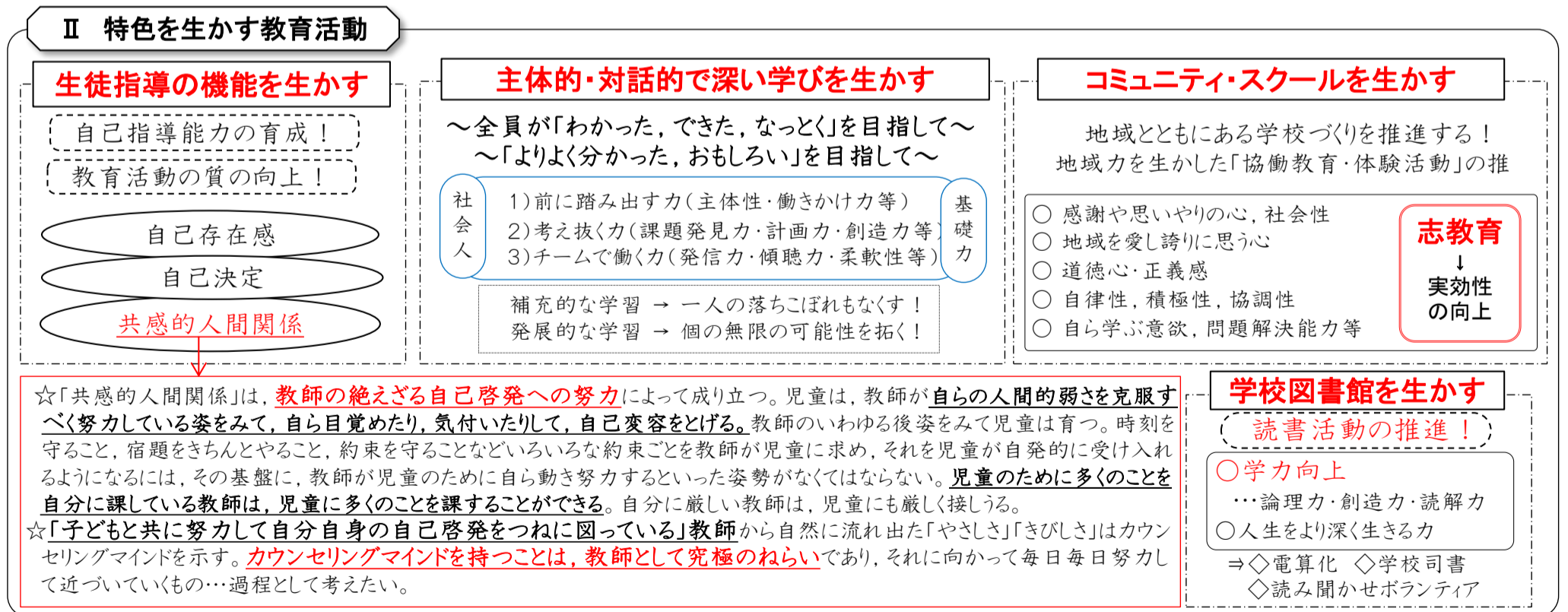
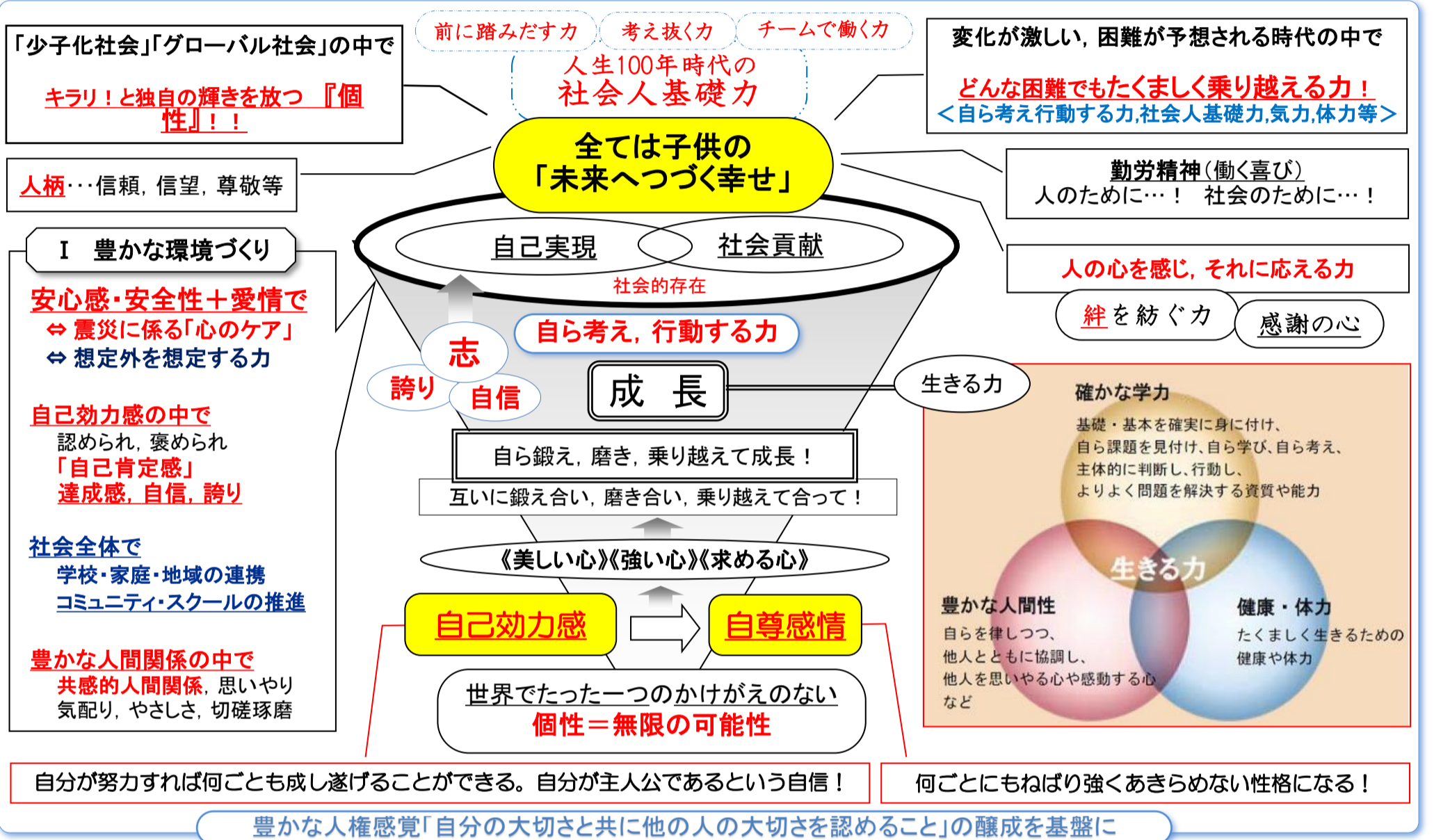


令和2年度の学校経営方針

鳴瀬桜華小学校長

【教育基本法】(平成18年法律第120号) <新設> ○生涯学習の理念 ○家庭教育 ○学校、家庭及び地域住民等の相互の連携協	【人生100年時代の社会人基礎力】(経産省) ○前に踏み出す力・チームで働く力・考え抜く力 ○何を学ぶか・どのように学ぶか・どう活躍するか
【第3期教育振興基本計画】(平成30年6月15日閣議決定) ○主体的に判断し、多様な人々と協働、新たな価値を創造する人材の育成 ○一人一人が活躍、豊かで安心して暮らせる社会、社会の持続的成長・発展 ○「超スマート社会(Society5.0)・人生100年時代」を豊かに生き、未来を開拓する多様な人材→感性や創造性の発揮、個々の「可能性」「チャンス」の最大化	【次世代の学校・地域】創生プラン】(平成28年1月文部科学大臣決定)の実現に向けて ○学校の機能強化を一体的に推進(地方教育行政法・学校教育法・社会教育法・学校教育法施行規則・義務標準法等・教特法等の改正)
【新学習指導要領】…知識の理解の質を高め資質・能力を育む「主体的・対話的で深い学び」… ○「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱で再整理 ○言語能力の確実な育成、理数教育の充実、伝統や文化に関する教育の充実、道徳教育の充実、体験活動の充実、外国語教育の充実、その他の重要事項* *初等中等教育の一貫した学びの充実、主権者教育、消費者教育、防災・安全教育などの充実、情報活用能力(プログラミング教育を含む)、子供たちの発達への支援(障害に応じた指導、日本語の能力等に応じた指導、不登校等)	【第2期宮城県教育振興基本計画】～志を育み、復興から未来の創造へ～ 学校・家庭・地域の強い絆のもとで、多様な個性が輝き、ふるさと宮城の復興を支え、より良い未来を創造する高い志を持った、心身ともに健やかな子供が育っています。そして、人々が生きがいを持って、生涯にわたり、多様に学び、交流する中で、豊かな文化と活力のある地域社会が形成されています。 ～「心と体」「学ぶ力」「復興・郷土愛」「学校・家庭・地域の連携・協働」「生涯学習」～
【子どもの読書活動の推進に関する法律】(平成13年法律第154号) 【第4次「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」】(2018年4)	【生徒指導提要】(平成22年3月) → 理論・考え方や実際の指導方法等の基本書
	【教育の情報化ビジョン】(平成22年8月) 【教育の情報化に関する手引】(平成22年10月)

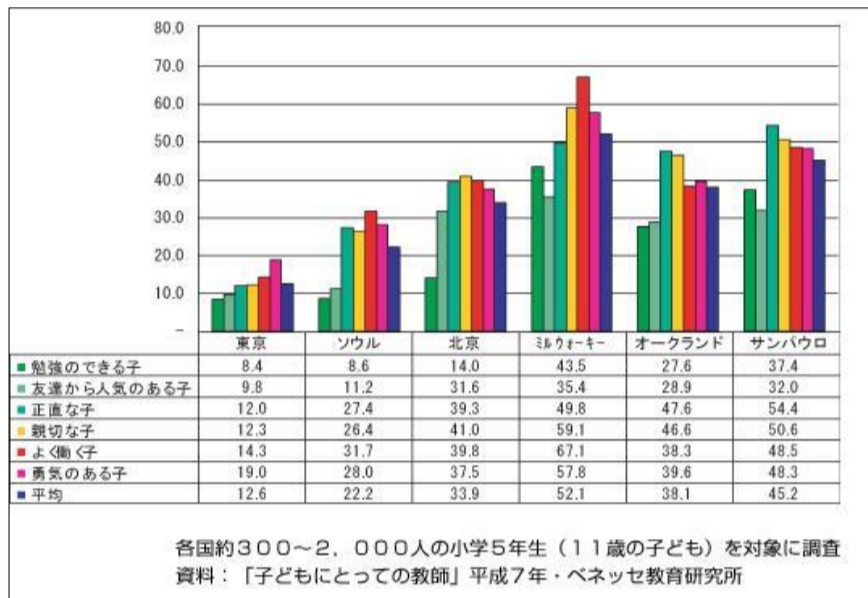
【実態・課題】…被災地(平成30年度:全壊90名, 大規模半壊50名, 半壊56名[196/254=77%])…震災に起因する生活環境の激変による幼少期からの発達に影響(トラウマ・グリーフ・アタッチメント不全・地域コミュニティ崩壊・経済状況等)の視点から「みだてる」ことを基盤に、「心のケア」「学力向上」「体力向上」等の課題解決に向けた経営方針・重点努力事項を構想する。



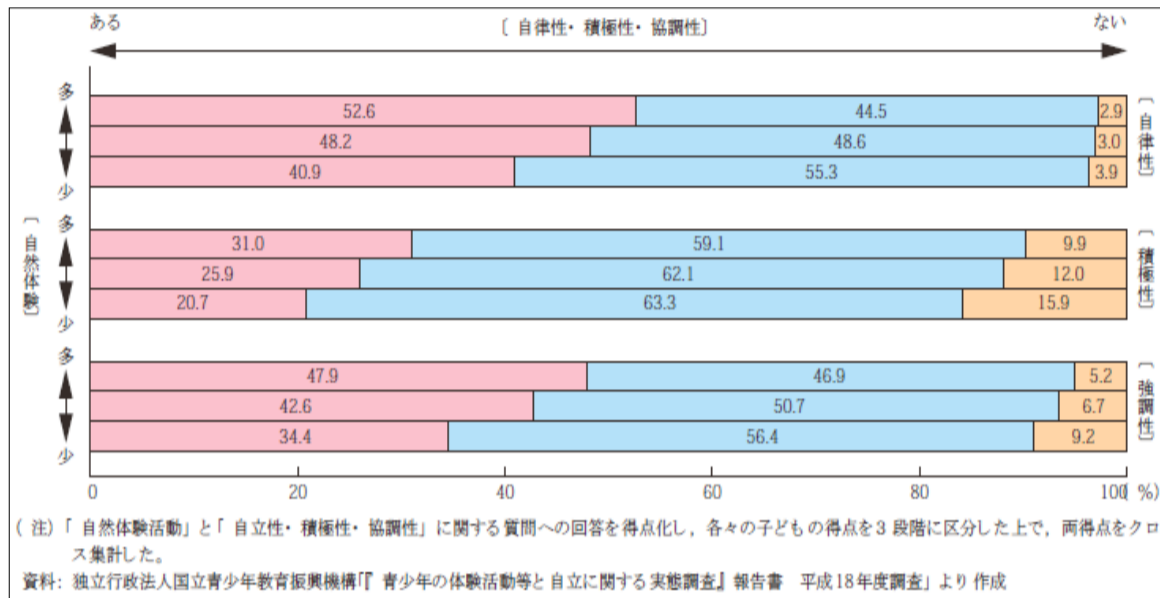
【フィンランドに学ぶ教育と学力】

- 国際学力調査で世界ナンバーワン。読解力と科学力で1位、数学で2位、問題解決能力で2位、総合で学力世界1位！
- 年間授業日は190日、日本より40日ほど少なく、塾もない…では、なぜ？
- 詰め込み、ゆとり、競争、放任といった言葉は当てはまらない⇒筋の通った教育を生きるためにしているから世界一に！
- 「子供は国家の財産、一人の落ちこぼれも作らない」という意識が国民全体に浸透⇒少人数編成の学級、徹底的な補充学習！
- 『一人一人が向上する』という方針に基づいて子どもを評価。テスト主義(点数主義)でもなく、学校格差もなく、総合制。学校内で能力別指導はなく、ランキングも否定されている「非選別型の教育」。
- 子どもに、自分が努力すれば何ごとにも成し遂げることのできる、自分が主人公であるという自信を持たせる、自己効力感をもちこせることに重点がおかれる。だから、子どもは自尊心が高く、何ごとにもねばり強くあきらめない性格をもつ。
- 「学ぶことは自分のため」という意識が徹底。学びを通して子どもたちに、社会のためにできることや自分にとって必要な学びを気づかせることを目的。子供の自主性を尊重。多くの親は「嫌がるものに強制しない」「人間はもともと興味・関心を持っていて、自ら学んでいくもの」という信念とともに、強制すれば本来の学習というものを壊し、教育にならないと考えている。
- 覚えることではなく、自分たちの言葉で「表現する」「スピーチする」「プレゼンする」で評価。本や資料から得た知識を、自分なりに解釈していくという訓練を重視。知識は前提であって、それをどう自分が考えるかという点で評価。
- 図書館利用率世界一。本を批判的に読むこと(クリティカル・リーディング)が習慣となっており、論理力・創造力・読解力をつけることができる。
- 地域コミュニティが教育根幹を支えている。地域のみんなが互いに顔見知り。道ですれちがえば挨拶。地縁で結ばれた関係の絆が強い。
- 教師は国民のロウソク。暗闇のなかに明かりを照らす人、人々を導く存在、正しい知識やモラルの持ち主。その村や町の中心人物。

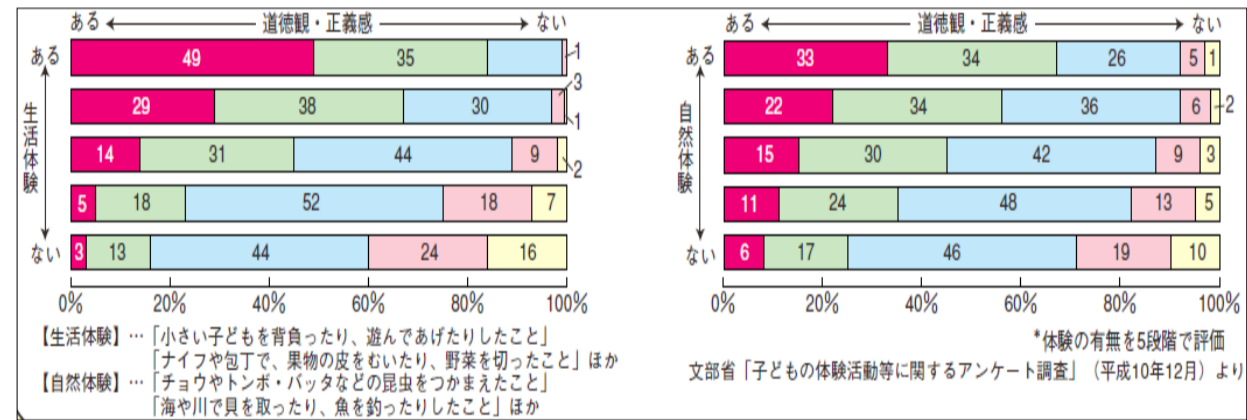
【自信をもてない日本の子どもたち】



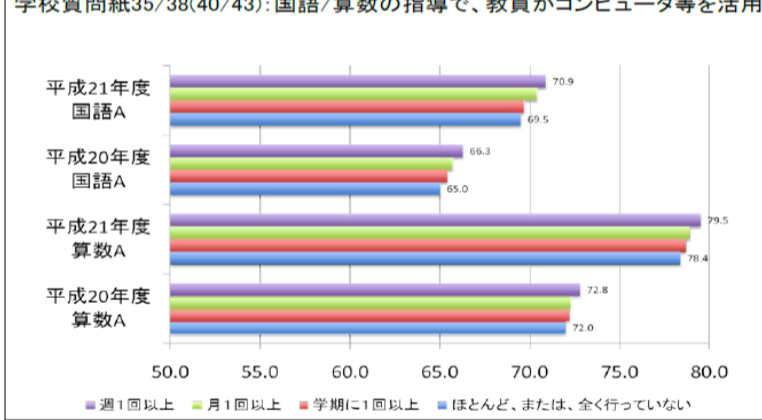
【自然体験活動と自律性, 積極性, 協調性】



【生活体験・自然体験と道徳観・正義感】



ICTの活用頻度と平均正答率(A問題)の関連



【教育基本法】(平成18年法律第120号)

前文 … 公共の精神 豊かな人間性と創造性 伝統を継承 未来を切り拓く教育
第2条 教育の目標… 幅広い知識と教養 真理を求めめる態度 豊かな情操と道徳心 健やかな身体 個人の価値の尊重と能力の伸長 創造性 自主及び自律の精神 職業及び生活との関連を重視 勤労を重んずる態度 正義と責任 男女の平等 自他の敬愛と協力 公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画、発展に寄与する態度 生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度 他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度
第3条 生涯学習の理念【新設】
第5条 義務教育… 各個人の有する能力の伸長 社会において自立的に生きる基礎 国家及び社会の形成者としての資質
第6条 学校教育… 学校生活を営む上で必要な規律 自ら進んで学習に取り組む意欲を高めることの重視
第10条 家庭教育【新設】
第13条 学校、家庭及び地域住民等の相互の連携協力【新設】

【第3期教育振興基本計画】(平成30年6月15日閣議決定)

第2期計画の「自立」「協働」「創造」の方向性を継承し、以下の姿を目指す。
《個人と社会の目指すべき姿》
(個人)自立した人間として、主体的に判断し、多様な人々と協働しながら、新たな価値を創造する人材の育成
(社会)一人一人が活躍し、豊かで安心して暮らせる社会の実現、社会(地域・国・世界)の持続的な成長・発展
《教育政策の重点事項》
○「超スマート社会(Society5.0)」の実現に向けた技術革新が進展するなか「人生100年時代」を豊かに生きていくためには、「人づくり革命」、「生産性革命」の一環として、若年期の教育、生涯にわたる学習や能力向上が必要
○こうした激動の時代を豊かに生き、未来を開拓する多様な人材を育成するためには、誰もが人間ならではの感性や創造性を発揮し、自らの「可能性」を最大化していくこと、そして誰もが身に付けた力を生かしてそれぞれの夢に向かって志を立てて頑張ることができるよう、「チャンス」を最大化していくことが必要
1.夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する。2.社会の持続的な発展を牽引するための多様な力を育成する。3.生涯学び、活躍できる環境を整える。4.誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する。5.教育政策推進のための基盤を整備する。

Q これからの社会には、どのような人がより必要だと思いますか。(3つまで選択)

社会のルールを守り、正義や責任などの気持ちをしっかり持つ人	1,230
よい人間関係をつくるコミュニケーション能力があり、人と協力してものごとにあたることができる人	1,124
自分で考え行動するなど、自立心をもつ人	1,021
苦しさ・つらさなどに耐える力をもち、ねばり強くものごとにあたる人	994
未来のことや新しいことを考える力があり、社会をより良くしようとする人	603
美しいもの、すばらしいことに感動する心をもち、感じたこと考えたことを表現できる人	593
豊かな心、すこやかな身体、高い教養をバランス良くあわせ持つ人	410
地域の行事に積極的に参加するなど、地域を支えることに熱心な人	329
いつも学びつづけ、自分を高める努力をする人	323

【学習指導要領】(平成29年3月)

- ◎ よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を共有し、社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む
- ◎ 「社会に開かれた教育課程」の実現
- ◎ 各学校における「カリキュラム・マネジメント」の実現
- 【何ができるようになるか】新しい時代に必要となる資質・能力の育成と、学習評価の充実
学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性等の涵養
生きて働く知識・技能の習得、未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成
- 【何を学ぶか】新しい時代に必要となる資質・能力を踏まえた教科・科目等の新設や目標・内容の見直し
小学校の外国語教育の教科化、プログラミング教育の新設など
各教科等で育む資質・能力を明確化し、目標や内容の構造的に示す
- 【どのように学ぶか】主体的・対話的で深い学びの視点からの学習過程の改善
生きて働く知識・技能の習得など、新しい時代に求められる資質・能力を育成
知識の量を削減せず、質の高い理解を図るための学習過程の質的改善

《教育に関する県民意識調査(平成20年9月)～宮城県教育振興基本計画より～》

※『志教育の実効性を上げるためにも、これと連動して協働教育を進めていくことが重要…』《宮城県教育委員会小林教育長説明～第5回中教審教育振興基本計画部会議事録より～》

自己指導能力とは、その時、その場で、どのような行動が適切か、自分で決めて、実行する能力

「どのような行動が適切か」の基準は、他の人の主体性の尊重と自己実現＝他の人のためにもなり、自分のためにもなる

○正しい判断をすること ○自発的なやる気を育てることがポイント

共感的人間関係＝生徒指導の基盤

教師が自らの人間的弱さを克服すべく努力している姿をみて、自ら目覚めたり、気付いたりして、自己変容を遂げる。後姿を見て育つ。

「児童生徒と共に努力して自分自身の自己啓発をつねに図っている」教師から自然に流れ出た「やさしさ」「きびしさ」はカウンセリングマインドを示す。

カウンセリングマインドを持つことは、教師として究極のねらいであり、それに向かって毎日毎日努力して近づいていくもの…過程として考えたい。

スティーブン・R・コヴィー「7つの習慣」より

◇人格主義

「原理原則を体得し、人格を取り入れる以外に、真の成功はありえないし、永続的な幸福も手にいれることはできない。状況を変えたければ、まず自分を変えなければならない。自分を効果的に変えるには、自分の知覚、ものの見方を変える必要がある(パラダイスの転換)」

「原理原則とは、「誠意」、「謙虚」、「勇気」、「正義」、「忍耐」、「勤勉」、「節利」、そして「黄金律」などを指しています。これらを“成功の条件”としているんですね。

◇個性主義

「自分の人格に基本的な欠陥、二面性、あるいは不誠実さをもちながら、テクニックや手法だけで人を動かしたり、仕事をさせたり、士気を高めようとする事」

◇インサイド・アウト

個人の信頼性向上により、人間関係も変わり、マネジメントでは任し任される風土が醸成され、組織の目指すべき方向に、全員が最大限に力を発揮できるような状態を作り上げる。

第一の習慣「主体性を発揮する」

自己責任の習慣です。今の自分は自分の選択の結果である。逆の考え方は、うまくいかないことを他人や組織、環境のせいにし、不平や不満を言い続ける。自分が出来ることに集中し、自らの力で結果を出すのが主体性を発揮することです。

第二の習慣「目的を持って始める」

自己リーダーシップの習慣です。自分の軸を持ち、方向性を明確にして始めれば、はしごの掛け違いは起こりません。もともとやるべきでなかったことを能率・効率よくやることほど無駄なことはない、ということです。

第三の習慣「重要事項を優先する」

自己マネジメントの習慣です。私たちは緊急事項に振り回されることが多々あります。でも緊急だからと言って必ずしも重要とは限りません。緊急ではなく重要なことに時間を投入することが大切です。すると…、緊急且つ重要なことは徐々に減っていきます。

ここまでの第一から第三の習慣は、個人の自立を促す習慣です。でも自立がゴールではありません。私たちは日々様々な人間関係の中で暮らしているからです。

第四の習慣「Win-Winを考える」

人間関係におけるリーダーシップの習慣です。世の中、競争時代。しかし人間関係においていつも相手を負かし、自分が勝っていたらどうなるでしょうか？大切な人との関係においてもそうだとしたら…いずれはその人との関係は破綻してしまいます。

第五の習慣「理解してから理解される」

人間関係を築くコミュニケーションの習慣です。私たちが抱えている問題のほとんどは、コミュニケーション不足に起因します。自分の意見ばかり主張し、相手の意見を聞かなかつたら、問題解決に至るでしょうか？問題解決は相手を理解し、聴くことから始まります。

第六の習慣「相乗効果を発揮する」

人間関係からシナジーを創造する習慣です。第四の習慣で相互のWinを考え、第五の習慣ではお互いを理解し合い、相違点を発見しました。相乗効果とは、互いの違いを排除するのではなく、むしろ相違点に価値をおくことで、新しい価値や第三案を生み出すことなのです。

第七の習慣「刃を研ぐ」

自己再新再生の習慣です。第一から第六の習慣を自己研鑽する習慣です。知的、肉体、精神、社会的側面を常に磨いていく習慣です。

特色ある教育活動

→ 学校支援ボランティアの組織化

閉会挨拶

本日は、公私共に大変お忙しい中にもかかわらず誠にありがとうございます。

地域コミュニティの崩壊が進む地域で 健やかに成長できない子どもたちの姿があり、地域コミュニティの再構築の支援をしていた中で、私は、ふと、人間の真の豊かさとは？考えたことがあります。「絆」「人と人との心の絆」では、とたどりつきました。

花山のすばらしさは、他に誇れる豊かな自然や歴史・文化・施設はもちろんですが、何よりも「豊かな地域コミュニティ」「人と人との心の絆」にあるのではと考えております。地域の愛情が子どもたちに注がれ、背中を押し、健やかな成長を支えていると確信しております。

結びになりますが、参会賜りました皆様方のますますの御健勝を祈念いたしますとともに、ますます「学校・家庭・地域との連携」を深め、「子どもたちの将来の幸せ」のためにこれからも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。閉会のあいさつとさせていただきます。

